

# 第3学年 総合科 学習指導案

長浜市立永原小学校 教諭 曾根 花蓮

1. 単元名 山門水源の森～どうして大切なのだろうか？生物の多様性から～

2. 単元目標

- ・山門水源の森には多くの種類の生物がいることやササユリの花の特徴を知るとともに、山門水源の森を保全している人々の活動について知る。 (知識・技能)
- ・なぜ山門水源の森が大切にされているのか考える。 (思考・判断・表現)
- ・山門水源の森の生物を観察したり、話しを聞いたりすることを通して、山門水源の森の大切さに気づき、その大切さを他の人に伝えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、山門水源の森がなぜ大切にされているのか、児童が実感できるよう山門水源の森について知る学習を進めていく。山門水源の森には希少種をはじめとする多様な生き物があり、トンボだけでも50種類が生息している。また、山門水源の森は県の条例により、ミツガシワ等生育地保護区に指定されている。そして、ミツガシワやヒツジグサをはじめとする希少植物や、どんどん数が少なくなっているササユリの保全活動に取り組む人々がいる。しかし、山門水源の森は数十年前までは保全されておらず、荒れた状態の時があった。それらについて学習していく中で、山門水源の森の大切さを感じ、自分たちの住む地域に素晴らしい場所があることに気づけるのではないかと考えた。

(2) 児童観

本学級の児童は、1年生の時から毎年2回山門水源の森を訪れている。その時には、山門水源の森の水が大浦川につながっていることを学習したり、湿原に生息している生物の観察をしたりしてきた。また、山門水源の森が大切にされていることは知っているが、なぜ大切にされているのかを深く知っている児童は少ない。理科「こん虫を調べよう」では、昆虫の体のつくりや生息する場所や何を食べているかに興味をもち、前向きに学習することができたので、山門水源の森の生物多様性にも興味を示す児童は多いのではないかと思う。

(3) 指導観

本単元では、まず前学年までの学習の経験から、山門水源の森について考える。次に、春と秋にネイチャービンゴに取り組み、その活動を通して、山門水源の森の生物多様性について知る。また、昆虫は植物を食糧とするものが多く、様々な種類の昆虫が生息しているということは、様々な植物も生息しているということにも気づかせたい。さらに、道徳の教材である

「ササユリの森～山門水源の森を守る～」やゲストティーチャーの話から、植物の保全活動について知る。現在は保全されていることが当たり前になっているが、数十年前は保全活動がはじまっておらず、荒れた状態だったことも学び、自然と関わりをもたなければ今の状態を保てないことも感じさせたい。そして、学習したことを新聞にまとめ、お家の人に伝える。深めた知識を自分だけのものにしておくのではなく、他の人に伝えることで、様々な人に山門水源の森を知ってもらえる機会になるのではないかと思う。

#### (4) ESD との関連

##### ・ 本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

【多様性】希少な生物や植物と触れ合う体験を通して、山門水源の森の生物や植物の多様性に気づくことができる。

【有限性】山門水源の森の保全活動についての学習を通して、保全をしていかなければこのままの状態を長く維持することはできないことに気づくことができる。

##### ・ 本学習で育てたい ESD の資質・能力

###### 【システムズ・シンキング】

山門水源の森に様々な生物が生息しているのは、山門水源の森の希少な環境や保全活動のおかげだということを理解する。

###### 【コミュニケーション力】

山門水源の森について学習したことを新聞にまとめ、様々な人に伝える。

###### 【世代間の公正】

保全されている姿が当たり前ではなく、自分たちが自然と関わっていかなければ現在の状態を保つことはできないということを理解する。

##### ・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

###### 【自然環境や生態保全を重視する】

山門水源の森の生物や環境、保全活動について学習する中で、自分の住む地域に、素晴らしい場所があることに気づくことができる。

##### ・ 達成が期待される SDG s

###### 1 5 陸域生態系の保護

#### 4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①山門水源の森の生物多様性について理解している。  ②山門水源の森の植物の保全活動について理解している。	①山門水源の森がなぜ大切にされているのかを考え、それを新聞にまとめている。	①山門水源の森の生物や植物、保全活動に興味をもち、観察したり話を聞こうとしたりしている。

#### 5. 単元の指導計画（全11時間）

時	○主な学習活動 ・児童の反応	・学習への支援	評価
1	○これまでの経験から、山門水源の森について考える。 ・いろいろな植物があるね。 ・アカハライモリを見たよ。 ・水源の森の水は大浦川につながっている。 ・地域の宝とよばれている。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             山門水源の森は、なぜ大切にされているのだろう。           </div>	・前年度までの山門水源の森で学習している様子が分かる写真を提示する。	ウ①
2 3	○ネイチャービンゴを通して、春の生物について知る。 ・きれいな花がたくさんさいているね。 ・ササユリもさいているよ。 ・ホオノキの葉っぱって大きいね。 ・アカハライモリがいるよ。	・ビンゴカードを用意し、多くの生物を見つけられるよう意欲付けをする。	ウ①
4 5	○ネイチャービンゴを通して、秋の生物について知る。 ・ササユリの花はさいてないね。 ・他の花もさいていないよ。 ・キノコがたくさん生えているね。 ・トンボがたくさんいるよ。	・ビンゴカードを用意し、多くの生物を見つけられるよう意欲付けをする。	ウ①

6	<p>○春と秋の山門学習で体験したことから、春と秋の山門水源の森の生物の違いや生物多様性について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春と秋で、葉っぱの色が違うね。</li> <li>・同じ生き物もいる。</li> <li>・山門水源の森にはいろんな生物や植物がいるね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山門学習での様子が分かる写真を提示し、体験した時のことを想起させる。</li> <li>・友達とビンゴカードに記録したものを教え合い、自分が記録したものの以外にも興味をもてるようにする。</li> </ul>	ア①
7	<p>○ササユリや山門水源の森での保全活動について知る。</p> <p>教材：道徳「ササユリの森～山門水源の森～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ササユリは花が咲くまでに7年もかかるんだね。</li> <li>・鹿に食べられるのを防ぐためにネットを設置しているんだね。</li> <li>・山門水源の森の保全活動って大変だなあ。</li> <li>・保全していないと、たくさんの生物が生息できないんだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーを招き、山門水源の森が保全される前のことや、現在の保全活動について教えてもらう。</li> <li>・春の山門学習のことを想起させ、ササユリの花に興味をもてるようにする。</li> </ul>	ア②
8 9 10	<p>○山門水源の森についての新聞を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山門水源の森には、たくさんの生物がいることについてまとめたい。</li> <li>・希少種の保全活動について新聞を書きたいな。</li> <li>・山門水源の森はとてもめずらしい場所だから大切にされているんだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビンゴカードやワークシートなど、前時までの学習をふり返れるものを見られるようにしておく。</li> <li>・相手意識をもち、構成や内容の質についても考えさせるようにする。</li> </ul>	イ①
11	<p>○作った新聞をお家の人に紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて知ることばかりでびっくりしたって言われたよ。</li> <li>・お家の人をびっくりさせることができるとても嬉しかったな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の山門学習にも興味をもって取り組めるよう、肯定的な声かけをする。</li> </ul>	イ①